

新しい年を迎え、久しぶりに子どもたちの元気な笑顔を見ることができ、職員一同とても嬉しく思っております。「でんしゃ」「ブーブー」「ばあば」など、少ない言葉ながらも一生懸命に気持ちを伝えてくれる姿から、年末年始をご家庭で楽しく、穏やかに過ごされていた様子が伝わってきて、心が温かくなりました。



入園当初は一人遊びが多かった子どもたちですが、月日が経つにつれて友だちと一緒に過ごす楽しさを少しずつ感じられるようになってきました。お休みしているお友だちがいると、指差しや言葉で知らせてくれたり、簡単なやり取りを楽しんだりする姿も見られるようになり、成長を感じています。

お友だちのしていることや持っているものが気になる年頃の子どもたち。時には同じおもちゃを使いたくて、思いがぶつかり合う場面もあります。そんな時には、「かしてって言ってみようか」「〇〇ちゃんも使いたいみたいだよ」など、大人が気持ちを代弁しながら関わり方を伝えています。うまくいくことばかりではありませんが、こうした経験を重ねる中で、自分の思いを少しずつ伝える方法を学んでいるようです。最近では散歩車に乗って園外へお散歩に出かけたり学園の図書館へ行ったりと、行動範囲も広がってきました。グラウンドやガーデンで遊ぶ楽しさも覚え、「今日はどこへ行こうか」と声をかけると、「あっち」「こっち」と指差しで教えてくれる姿も見られます。特に散歩車に乗ることが大好きで、散歩の気配を感じると自分から近付いてきたり、「のりたーい」と言葉で気持ちを伝えてくれたりしています。

図書館では静かに過ごすことも覚え、たくさんの本の中から自分の好きな絵本を選び、落ち着いて読む経験もできました。お気に入りの絵本を貸し借りする姿にも、子どもたちの成長を感じています。

3 学期には新しいお友だちも入園され、こあら組の雰囲気もまた新しくなりそうですね。これから毎日が楽しみです。早いもので、こあら組で過ごす時間も残り 3 か月となりました。これからも子どもたち一人ひとりが楽しい経験を重ね、自信につなげていけるよう、丁寧に関わっていきたいと思います。



3 学期の目標

- ・自分の思いを言葉で伝えようとする。
- ・生活の再現遊びを楽しむ。

